

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1K07-103	2007/12/29	2012/06/04	石油ストーブ(開放式)	(火災)給油後に再点火し、しばらくすると当該製品から発火し、周辺が焼損した。	火災		愛知県	○当該製品には、焼損や異常燃焼の痕跡は認められなかった。 ○焼損した場所は当該製品の後方の離れた位置であった。	
B1K07-102	2007/12/31	2010/11/05	石油小型給湯機	当該機器を使用後、しばらくすると、当該機器より炎が上がったので、消火した。現在、原因を調査中。	火災	無	京都府	調査の結果、室内設置用である当該機器を雨風があたる屋外に設置していたため、機器内部に水分が浸入し、基板上にてショートし、出火したものと判断した。	
B1K07-101	2007/12/31	2009/08/11	石油ストーブ(開放式)	給油する際に、こぼれた灯油に引火して火災	器具焼損	1名死亡 1名軽傷	新潟県	調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油し、戻そうとした際に、周囲にあったストーブガードに給油タンクのつまみを引っかけたために、給油タンクのふたが開いて灯油がこぼれ、火災に至ったものと判断した。なお、取扱説明書には、給油時消火の警告表示が記載されている。	
B1K07-100	2007/12/19	2009/08/11	石油ストーブ	給油し、戻そうとした際に給油タンクのねじ式キャップが完全に締まっていなかったために、灯油がこぼれた。さらに燃焼筒が適切にセットされていない状態で点火したことから異常燃焼して火災に至った。	火災	1名死亡 1名軽傷	北海道	調査の結果、当該製品に給油し、戻そうとした際に、給油タンクのねじ式キャップが完全に締まっていなかったために、製品内に灯油がこぼれた。さらに燃焼筒が適切に確実にセットされていない状態で点火したことから異常燃焼して火災に至ったものと判断した。	
B1K07-099	2007/11/09	2009/08/11	石油給湯機付ふろがま	施工時に製品を平板で囲んで設置していた為、換気状態の悪化により不完全燃焼による着火不良が発生し、製品下部に漏れた未燃灯油に引火し機器が焼損。	器具焼損	無	秋田県	調査の結果、施工時に当該製品を平板で囲んで設置していたため、換気状態の悪化により不完全燃焼による着火不良が発生し、製品下部に漏れた未燃灯油に引火したもので、施工上の問題と判断した。	
B1K07-098	2007/12/28	2009/08/06	石油ストーブ(開放式)	当該製品を使用中、火力調節をするためにダイヤルを回したところ、本体下部から出火した。	家屋焼損 器具焼損	無	兵庫県	調査の結果、当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。なお、取扱説明書には、ガソリン誤給油の注意表示が記載されている。	
B1K07-097	2007/12/01	2009/08/06	石油ストーブ(開放式)	火災が発生し、石油ストーブの燃焼筒とつまみの上部が焦げた。	器具焼損	無	愛媛県	調査の結果、燃焼筒としん外筒との隙間にしんがはみ出したまま使用されていたため、隙間から炎があふれ、溜まっていた埃に引火したものと判断した。	
A2K07-096	2007/09/17	2008/10/14	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用中、煙突から黒煙と火の粉が出ていた。	無	無	石川県		
B1K07-095	2007/12/23	2008/10/06	石油ファンヒーター	全焼火災で1名死亡の現場からの回収物の一つに当該品があった。消防で調査の結果は、いくつかの可能性はあるが、断定する物証等がないため火災原因は「不明」とのことで、経済産業省の第三者判定委員会において「製品起因による事故ではない」と判断された。	有	1名死亡	岐阜県	調査の結果、カードリッジタンクのふたを閉め忘れたため給油時に灯油がこぼれ、火災に至ったものと判断した。	
B1K07-094	2007/12/20	2008/10/06	石油ストーブ(開放式)	ストーブ燃焼中、こたつ布団が接していて、燃えた	家屋全焼	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日未満)1名	三重県	燃焼異常や灯油漏れの形跡が無いことから当該製品使用中に可燃物が接触したことから火災に至ったものであり、使用中の当該製品に可燃物が接触したことにより、火災に至ったものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1K07-093	2007/12/16	2008/10/06	石油ストーブ(開放式)	部屋にある石油ストーブに給油をする際に、カートリッジタンクからこぼれた灯油が石油ストーブにかかり引火した。	アパート1室全焼	無	山口県	調査の結果、ストーブの火を消して給油したものの、給油タンクの口金(ねじ式)を閉め忘れ、セットした際にカートリッジタンクから流出した灯油が燃焼筒の余熱により引火したものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1K07-092	2007/12/13	2008/10/06	石油ストーブ(開放式)	午後6時頃点火し午後8時頃石油ストーブより大きな炎が出ているのに気付き消火レバーを押したが消火できず座布団をかぶせて持ち出そうとしたが、座布団も燃えたのであわててその場を離れた。その為室内に炎が燃え移り家屋が全焼した。	有	無	岩手県	調査の結果、製品に異常箇所はなく、石油ストーブの燃料に灯油ではなくガソリンを誤給油したものと判断した。	
B1K07-091	2007/11/11	2008/10/06	石油ファンヒーター	石油ファンヒーターを点火して約1時間後に器具後方の置台付近より炎が上がった。原因は、ユーザーが誤って揮発性が高く引火性が低いシンナー等の燃料を給油し、運転中の蒸気圧により漏れ出た燃料に引火したものと推定された。	内装業兼住宅を半焼	無	石川県	調査の結果、当該製品の燃料に灯油ではなく有機溶剤等を誤給油したことが判明した。	
A2K07-090	2007/12/12	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	神奈川県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-089	2007/10/05	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	山梨県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-088	2007/08/23	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	熊本県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-087	2007/07/14	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	長野県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-086	2007/04/26	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	静岡県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-085	2007/04/12	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し、家のブレーカが作動した。	製品被害有	無	不明		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-084	2007/12/06	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	山梨県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-083	2007/11/04	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	栃木県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-082	2007/10/13	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	香川県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-081	2007/10/11	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	和歌山県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-080	2007/09/01	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	兵庫県		リコール品 (2008/09/02)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

## 製品事故(A2, B1, B2) 石油機器

2012/6/4

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
A2K07-079	2007/09/01	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	千葉県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-078	2007/08/24	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	埼玉県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-077	2007/08/20	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	栃木県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-076	2007/08/02	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	滋賀県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-075	2007/07/24	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	山口県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-074	2007/07/16	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	長野県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-073	2007/07/12	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	埼玉県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-072	2007/07/12	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	宮崎県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-071	2007/07/05	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	福岡県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-070	2007/07/05	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	愛知県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-069	2007/07/02	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	岐阜県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-068	2007/06/25	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、排気口より煙が発生した。	製品被害有	無	群馬県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-067	2007/06/25	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、屋内のブレーカが作動した。	製品被害有	無	栃木県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-066	2007/06/21	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	山梨県		リコール品 (2008/09/02)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

## 製品事故(A2, B1, B2) 石油機器

2012/6/4

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
A2K07-065	2007/06/13	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	愛知県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-064	2007/06/11	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	兵庫県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-063	2007/06/11	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	宮城県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-062	2007/05/22	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	静岡県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-061	2007/04/13	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	山梨県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-060	2007/01/25	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	岡山県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-059	2007/01/16	2008/08/22	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	滋賀県		リコール品 (2008/09/02)
A2K07-058	2007/08/07	2008/07/04	油だき温水ボイラー	屋外設置のボイラーより黒煙が発生。バーナーファン回転数検知部品のコネクタ接触不良によりファン回転数を誤検知し空燃比異常となり、黒煙が発生したものと推測。尚、本症状のまま燃焼を続けた場合でも、安全装置(不完全燃焼防止装置)が働き、燃焼を自動停止するため、安全上の問題はありません。	無	無	長野県		
B1K07-057	2007/12/07	2008/07/03	石油ストーブ(開放式)	前日まで普通に使用していてカートリッジタンクに給油した後、当日夕方5時頃点火、7時頃石油ストーブが燃え上がっているのに気がつき屋外に出して消火した。	有	無	岩手県	調査の結果、石油ストーブの燃料に灯油ではなくガソリンを誤給油したことが判明したため、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B2K07-056	2007/12/04	2008/06/10	石油ファンヒーター	運転をした際、機器背面から煙が発生した。不良灯油により、気化器に多量のタールが付着し、予熱時又は、消火時のニードルの動作が阻害され、予熱が遅くなり、気化器から一部の気化灯油(白煙)が漏れたものと推定されます。	無	無	神奈川県		
B1K07-055	2007/06/20	2008/04/21	石油給湯機付ふろがま	ボイラー室から室内に煙が出ており、外からボイラー室のドアを開けたと同時に、一気に燃え上がり、家屋を全焼した。石油給湯機の内部よりも外面の方が焼きが激しい様子もあり、調査した結果、製品に起因する事故ではないと判断。	家屋を全焼	無	福島県	調査の結果、事故現場は当該機器近傍より離れた場所の焼損が激しく、当該機器は外郭の焼損は大きいですが、内部には出火の痕跡が見られないことから、外的要因の可能性が極めて高く、製品に起因しない事故と判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1K07-054	2007/12/02	2008/04/18	石油ふろがま	タイマーでスイッチを入れたときボンという音がしたので様子を見に行ったら特に異常は見当たらなかった。再度タイマーを回したが暖まらないのでもう一度外に出てみるとふろがまと壁の間から火が出ていた。機器を焼損、壁を焦がした。(現品は既に処分されており、調査することができませんでした。)消防からの情報では、ふろがまの左右後ろ及び上が囲まれており、前面も一輪車で覆われている状態で空気不足による燃焼不良があったと思われる。また、以前より調子が悪いまま使用されており、当時も不着火による未燃ガスが溜まっていたと思われ、これに引火して焼損に至ったものとみている。(消防見解)	有	無	山梨県	当該機器の周りが板や手押し車などで囲まれていたことから、空気不足による燃焼不良により、未燃ガスに引火し、火災に至ったものと思われ、使用者の誤使用による事故と判断した。	
B1K07-053	2007/12/23	2008/03/18	石油ストーブ(開放式)	マッチで点火後、火力が大きくなり本体下部のタンクに火がついたまま給油。給油中に、燃料に引火し火災となる。	有	無	三重県	石油ストーブの燃料に灯油ではなくガソリンを誤給油したことによる事故であるため、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1K07-052	2007/11/28	2008/03/18	石油ストーブ(密閉式)	機器の上に洗濯物が落下し火災に至った。	有	無	青森県	当該ストーブの上に干していた洗濯物が落下して発火したことから、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1K07-051	2007/11/25	2008/03/18	石油ストーブ(開放式)	使用者が石油ストーブの上に靴下を干して点火したまま外出し、自宅が全焼し、隣家を延焼した。	有	無	広島県	ストーブの上に干していた靴下が落ちて発火したものであり、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1K07-050	2007/11/24	2008/03/18	石油ファンヒーター	変質灯油が混入した当該製品の運転スイッチを入れて、しばらくすると白い煙が出て気分が悪くなった。	無	有	大阪府	変質灯油が燃料に使用されたことによる事故であるため、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1K07-049	2007/11/23	2008/03/18	石油ふろがま	浴槽に水を入れず運転し(空焚き状態)事故となった。 当該製品には「空焚き防止装置」が搭載されている。	有	無	岩手県	当該製品は、バーナーと本体が別製品同士で組み合わせられ、空焚き防止装置が働かないように改造されたものであり、浴槽に水を張らずに使用したため、空焚きとなり火災に至った事故であり、使用方法に原因がある事故であると判断した。	
B1K07-048	2007/11/16	2008/03/18	石油ストーブ(開放式)	石油ストーブをつけてから数十分たった頃に出火。床・内壁・天井の合わせて13㎡を焼いた。	有	軽傷	栃木県	石油ストーブの燃料に灯油ではなくガソリンを誤給油したことによる事故であるため、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1K07-047	2007/11/05	2008/03/18	石油ストーブ(開放式)	ストーブの給油時、カートリッジタンクの先端をぶつけたため、漏れた灯油が上面板にこぼれ出火。	器具及び壁焼損(約6㎡)	無	青森県	給油するため、カートリッジタンクを取り出す際に先端をぶつけたため、灯油が漏れ、漏れた灯油が上面板にこぼれたことにより出火した事故であるため、使用者の不注意による事故と判断した。	
B1K07-046	2007/10/26	2008/03/18	石油ストーブ(密閉式)	事務所で使用している燃焼中のストーブに、掛け布団を掛けたため発火した。	事務所50㎡を全焼	有(軽い火傷)	青森県	燃焼しているストーブに布団が被さったことによる火災であり、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B2K07-045	2007/12/21	2008/03/11	石油ストーブ(開放式)	玄関マットを掃除し、石油ストーブを使用して乾かしている時に玄関マットに引火した。あわてて玄関に投げ出した際に石油ストーブの前面床と玄関の靴箱を焼損した。	有	有	青森県		
B2K07-044	2007/11/16	2008/02/29	石油ストーブ(密閉式)	ストーブ前面より炎が出たので、消火器で消火した。ストーブ内部の一部焼損、拡大被害はない。	本体内部一部焼損	無	滋賀県		
B1K07-043	2007/11/20	2008/02/25	石油ストーブ	使用中の石油ストーブに、誤ってカーテンが接触し、炎がカーテンに燃え移り火災に至った。	店舗24㎡を焼損	有(火傷)	福島県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1K07-042	2007/12/07	2008/02/07	石油給湯機付ふろがま	送油ホース、油コック付近から灯油漏れがあり、給湯器の近くにあった石油ストーブに点火した際に捨てたマッチの火が引火したと推定された。	器具及び周辺焼損(約3㎡)	軽症	秋田県		
A2K07-041	2007/06/23	2008/02/07	石油給湯機付ふろがま	黒煙発生	製品被害有	無	福井県		
A2K07-040	2007/12/19	2008/02/06	石油給湯機(屋外式)	給湯器の使用中に器具内部焼損した。1週間後に、咽喉部に痛みがあると連絡してきた。	拡大被害無	軽傷	宮城県		リコール品 (2002/10/24)
B1K07-039	2007/12/14	2008/02/06	石油ストーブ	家屋全焼の火災が発生し、一人暮らしの高齢者が入院されたとの事。消防の見解では、石油ストーブの給油タンクの給油口口金が緩んでいた為、これにより灯油が漏れ火災に至ったとの事。	家屋全焼	有 (詳細不明)	北海道	タンク口金の締め方が不十分であったため、灯油が漏れ、漏れた灯油に引火した火災事故であるため、使用者の不注意による事故と判断した。	
A2K07-038	2007/12/08	2008/01/18	石油ファンヒーター	電源を投入したところ、バチバチバチバチバチと大きな音と共に右側下方の送風フィンの隙間から火花が見えた。原因はメイン基板のリレー端子部分とヒーターコネクタ端子の間に、導通不良が発生。基板の一部が炭化し、断線状態にいたったが、その際に火花が発生。	製品使用不可	無	長野県		メイン基板は米国規格UL94V-0グレードという自己消炎性を有する材質を採用
A2K07-037	2007/12/06	2008/01/11	石油給湯機(水道直圧式)	比例弁電磁ポンプの外部シールのリングが収縮し漏油、熱交換器フランジより燃焼室内に侵入して底部排気室に溜まり引火して本体内部を焼損。	製品被害あり	無	埼玉県		リコール品 (2005/01/24)
A2K07-035	2007/12/30	2008/01/07	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	器具から煙が出ているのに気付き水を掛けて消火した。器具は内部焼損していました。	機器焼損	無	福島県		リコール品 (2002/10/24)
A2K07-034	2007/12/23	2008/01/07	石油給湯機(屋外式)	器具内部の石油制御弁から油漏れし、器具排気口から煙が出た。	機器汚損	無	熊本県		リコール品 (2002/10/24)
A2K07-033	2007/12/09	2007/12/27	石油給湯機(屋外式)	漏電ブレーカーが作動し復旧できない状況になった。確認すると、ボイラー周辺の網戸一部とエアコンの室外機一部を熱変形させた。	器具内焼損及び網戸、エアコン室外機損傷	無	山梨県		
A2K07-032	2007/02/下旬	2007/12/27	石油ファンヒーター	給油タンクに灯油を入れ、本体に装着しようとしたらタンク上部の取っ手付近で指を怪我。	無	左手親指の腹・第一関節付近を25mm程切った。	大阪府		
B2K07-031	2007/10/17	2007/12/19	草焼バーナー	午前10時52分頃、草焼バーナーを使用し、建物基礎部分の周囲の雑草を焼却していたところ、不注意により基礎部分を焦がした。建物の基礎部分に接炎させるなど、使用方法に原因があったと考えられる。(取扱説明書では、家屋などの可燃物から3m以上離れて使用する、などの文言で火災に対する注意を「警告」として喚起しています。)	家屋基礎部分の焦げ	無	岩手県		
B1K07-030	2007/09/21	2007/12/19	石油バーナー	五右衛門風呂にホースで水を入れていたが、ホースがずれて水が燃焼炉へ流れ、バーナー設置場所まで冠水した。水を汲み出して、バーナーを乾かした後に沸き上げた。その後、追い焚きした際に発煙に気づいた。送油ゴムホースに亀裂があり、灯油が漏れていた。設置場所が地面より18cm窪んでおり、そこに6cmのブロックを置き、その上にバーナーを設置していた。設置不良。	バーナー本体焼損	無	山口県	地面に穴を掘ってふろがまを設置することは、取扱説明書で禁止しており、設置の状況から灯油を供給するゴムホースが屈曲し、最終的に亀裂が入り、漏れた灯油に引火したためであり、使用者の誤使用による事故であると判断した。	METI発表では「石油ふろがま」と表記。

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1K07-029	2007/11/26	2007/12/13	油だき温水ボイラー	ロードヒーティング用にボイラー庫で使用、「ボン」との爆発音にて爆発、燃焼、消防にて消火。消防署の調査よりボイラー庫内に揮発性のワックスを開栓のまま保管、気化し、ボイラーの点火時に引火。	火災	無	北海道		
A2K07-028	2007/12/05	2007/12/12	石油給湯機(屋外式)	器具内部の石油制御弁から油漏れし、器具排気口から煙が出た。	機器汚損	無	茨城県		リコール品 (2002/10/24)
A2K07-027	2007/10/末 or2007/11/ 初	2007/12/11	石油ストーブ(密閉式温風暖房機)	お客様によると、深夜当該ストーブを点けて就寝したところ、息苦しくなり、室内も臭くなっていた。確認の結果、バーナに灯油と1次空気を導入する部品の接続部が若干緩み、灯油の気化ガスが微量漏れ、臭いの原因となっていた。	無	無(検査の結果、異常なし)	栃木県		
A2K07-026	2007/08/03	2007/12/07	石油ふろがま	ふろ運転して沸きあがった後しばらくして再運転モードに入った。	無	無	茨城県		
A2K07-025	2007/11/20	2007/11/27	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	制御弁から油漏れし、器具排気口から煙が出た。	機器汚損	無	長崎県		リコール品 (2002/10/24)
A2K07-024	2007/10/03	2007/11/22	石油給湯機	器具外部のオイルストレナーの送油銅管接続部が欠けて油漏れ。:原因は経年的な劣化と何らかの外力が加わったものと考えられる。	無	無	福岡県		
A2K07-023	2007/11/17	2007/11/22	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	制御弁から油漏れし器具内焼損に至る。家のブレーカは作動した。	器具内焼損	無	石川県		リコール品 (2002/10/24)
A2K07-022	2007/11/13	2007/11/21	石油給湯機(水道直圧式)	比例弁電磁ポンプの外部シールのOリングが収縮し漏油、熱交換器フランジより燃焼室内に侵入して底部排気室に溜まり引火して本体内部を焼損。	製品被害あり	無	宮城県		リコール品 (2005/01/24)
A2K07-021	2007/10/13	2007/11/21	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	午前6時頃に通行人が器具から煙が出ているのに気づき水をかけた。	壁汚損および網戸損傷	無	茨城県		リコール品 (2002/10/24)
B2K07-020	2007/07/12	2007/11/21	石油ストーブ(開放式)	ストーブを使用して洗濯物を乾かしていて、集合住宅(10階建)の一室が全焼した。(消防では使用者の取扱いに問題があったと判断している。)石油ストーブを使用して、洗濯物を乾かしていたとのことで、洗濯ものがストーブに接触し発火したと思われる。	有	無	兵庫県		
A2K07-019	2007/10/31	2007/11/12	石油給湯機(水道直圧式)	比例弁電磁ポンプの外部シールのOリングが収縮し漏油、熱交換器フランジより燃焼室内に侵入して底部排気室に溜まり引火して本体内部を焼損。	製品被害あり	無	熊本県		リコール品 (2005/01/24)
A2K07-018	2007/10/27	2007/11/12	石油給湯機(水道直圧式)	比例弁電磁ポンプの外部シールのOリングが収縮し漏油、熱交換器フランジより燃焼室内に侵入して底部排気室に溜まり引火して本体内部を焼損。	製品被害あり	無	鹿児島県		リコール品 (2005/01/24)
A2K07-017	2007/10/06	2007/10/16	石油給湯機付ふろがま	給湯機の隙間から火が見えたので、扉を開けようとしたが、熱いので、消火器をかけた。内部の一部が焼損、拡大被害はない。消防には連絡していない。	本体内部一部焼損	無	北海道		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

製品事故(A2, B1, B2) 石油機器

2012/6/4

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1K07-016	2007/07/25	2007/10/16	石油ふろがま	浴槽に水を確認しないでスイッチを入れた。暫くして循環パイプの焦げる臭いで空焚きに気づき消火した。当該機器には空焚き防止装置がついておらず、消費者の不注意と判断された。	火災	無	北海道		
A2K07-015	2007/09/07	2007/10/05	石油小形給湯機	お客様が入浴中にブレーカが作動した。設備業者様が器具を確認すると、バーナ・配線の一部が焦げていた。	製品被害あり	無	岡山県		リコール品 (2008/09/02)
B1K07-014	2007/09/06	2007/10/01	焼却兼用ボイラ	台風の接近により煙突が傾いた状態(約45°)で、強風の中炎があふれたりしながら使用していた。また、何かのタイミングでオイルミストに着火した時、爆発着火して、錆びて弱くなっている焚き口蓋が外れ、ボイラ室の扉にあたった。自然災害による火災であり、製品には起因しない。(以上、消防本部の見解による。)	本体の一部焼損、ボイラ室の扉一部損傷	無	山梨県		A1→B1
B1K07-013	2007/06/11	2007/09/13	石油ふろがま	浴槽に水を張らずに運転スイッチを入れたため空焚きとなり、器具が過熱、循環パイプが溶融し出火、ステンレス浴槽の保温材が一部溶解。消費者の不注意と判断された。	火災	無	秋田県		
B1K07-012	2007/05/16	2007/09/11	石油給湯機付ふろがま	灯油を取りに自宅裏手に行ったところ、給湯器付近から炎が上がっていた。出火時、家屋の壁から炎が上がっていたとの目撃情報があり、給湯機の出火ではないことが判明した。	火災	無	宮城県	出火時、家屋の壁から炎が上がっていたとの目撃情報があり、給湯機の出火ではないことが判明した。	リコール品A1→ B1(2002/10/24)
A2K07-011	2007/08/30	2007/09/10	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	家人が給湯器を使用した時、リモコンにエラー表示が出ていたので何回か運転スイッチを入り切を繰り返した。隣人から給湯器から煙が出ているとの通報を受けた。器具内部は焼損していたが家屋等への拡大被害は有りませんでした。	拡大被害無し	無	兵庫県		リコール品 (2002/10/24)
A2K07-010	2007/08/28	2007/09/04	石油小形給湯器	比例弁電磁ポンプの外部シールのOリングが収縮し漏油、熱交換器フランジより燃焼室内に侵入して底部排気室に溜まり引火して本体内部を焼損。	製品被害あり	無	沖縄県		リコール品 (2005/01/24)
A2K07-009	2007/07/25	2007/08/07	石油小型給湯機付ふろがま	シャワー使用中にボイラー内部の電装部品が焼損し、屋内の電気ブレーカが作動したので停電になった。ボイラーは屋外に設置して自然消火し家屋などには拡大被害は有りませんでした。	拡大被害無し	無	千葉県		リコール品 (2002/10/24)
A2K07-008	2007/07/17	2007/08/07	石油小型給湯機付ふろがま	使用者が入浴中にシャワーを使用していて急に温度が上昇し、ほぼ同時に屋外に設置している石油ボイラーから煙と臭いがした。	拡大被害無し	無	茨城県		リコール品 (2002/10/24)
B1K07-007	2007/05/24	2007/07/24	石油ファンヒーター	ワカメを乾燥するため、ファンヒーターと扇風機を使用。ファンヒーターの前に、扇風機を仰向けに置き、熱風を上へ送風。ファンヒーターと扇風機の距離は30cm位で、ファンヒーターの熱風で扇風機のカバーが熱せられ溶け出し、モーターが過熱されたためモーターから出火し、周辺部品等に燃え移り、火災になった。 "「消防は口頭で製品に起因しない火災と判断」とコメント有り"	拡大被害	無	福井県		
A2K07-006	2007/06/23	2007/07/05	石油給湯機	排気口より炎が出ていた。	製品被害あり	無	宮崎県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故



## 製品事故(A2, B1, B2) 石油機器

2012/6/4

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
A2K07-005	2007/06/24	2007/07/05	石油小型給湯機付ふろがま	家人がシャワー使用時に給湯器が発火したと消防へ通報した。	拡大被害無し	無	長野県		リコール品 (2002/10/24)
B2K07-004	2007/06/19	2007/06/28	兼用ふろがま	空焚きによる接続ゴムからの黒煙	製品被害あり	無	兵庫県		
A2K07-003	2007/06/12	2007/06/22	石油給湯機	黒煙発生	製品被害あり	無	沖縄県		
A2K07-002	2007/05/03	2007/05/28	石油小形給湯器	給湯器を使用し浴槽に湯はりしていたところ、給湯器から黒煙が出ていたため気づいた隣人が給湯器のコンセントを抜きオイルタンクのパルプを閉めて消防署へ連絡した。消防が来たときには黒煙は止まっており消化活動は行っていない。消防見解では火災と扱わないとのこと。	製品被害あり	無	福島県		
A2K07-001	2007/04/06	2007/05/28	石油小型給湯機付ふろがま	4/6に消防より本体から煙が出たとのことで出動したが、人身被害・家屋被害はなし。不完全燃焼による黒煙であったため施主にメーカーに連絡するよう指示される。なお、当該器具はリコール対象品であり2006年12月に制御弁を交換しているが、それに関係したオイル漏れやサービス不具合は無し。	製品被害あり	無	石川県		故障品扱い
A2K0600021	2006/09/08	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	岩手県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600020	2006/06/24	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。内部を確認するとバーナの一部分が焦げていた。	製品被害有	無	兵庫県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600019	2006/06/05	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	広島県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600018	2006/12/18	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	山梨県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600017	2006/12/06	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	鹿児島県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600016	2006/09/22	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	岡山県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600015	2006/09/21	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	山口県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600014	2006/08/21	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	埼玉県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600013	2006/08/17	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	佐賀県		リコール品 (2008/09/02)

※1 A2: 重大製品事故以外の製品事故

※2 B1: 「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2: 「B1」以外の事故

## 製品事故(A2, B1, B2) 石油機器

2012/6/4

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
A2K0600012	2006/08/11	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	岡山県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600011	2006/08/03	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	岡山県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600010	2006/07/31	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	熊本県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600009	2006/07/26	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	鳥取県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600008	2006/06/25	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	宮城県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600007	2006/06/12	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、屋内のブレーカが作動した。	製品被害有	無	茨城県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600006	2006/06/05	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、屋内のブレーカが作動した。	製品被害有	無	兵庫県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600005	2006/05/24	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	山口県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600004	2006/05/21	2008/05/02 2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	使用中、リモコンにチェックサイン「590(熱交換器異常)」が表示し、お湯が水になる不具合が生じたため、修理を依頼したところ、器具内部の電装基板が黒くなっていた。	製品被害有	無	東京都		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600003	2006/05/15	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	石川県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600002	2006/04/24	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	福井県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0600001	2006/03/09	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	三重県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0500007	2005/04/11	2008/10/14	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用中、異臭と黒煙が発生した。	無	無	石川県		
A2K0500006	2005/10/15	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	栃木県		リコール品 (2008/09/02)

※1 A2: 重大製品事故以外の製品事故

※2 B1: 「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2: 「B1」以外の事故

## 製品事故(A2, B1, B2) 石油機器

2012/6/4

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発 生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
A2K0500005	2005/08/10	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、屋内のブレーカが作動した。	製品被害有	無	熊本県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0500004	2005/08/01	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	鳥取県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0500003	2005/07/20	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	石川県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0500002	2005/06/21	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	熊本県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0500001	2005/06/10	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	山口県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0400004	2004/07/13	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	和歌山県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0400003	2004/07/09	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	和歌山県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0400002	2004/07/21	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	熊本県		リコール品 (2008/09/02)
A2K0400001	2004/01/10	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	宮城県		リコール品 (2008/09/02)

注:

・発生年に合わせ、移動した。(10.09.13)

A2K0400001/A2K0400002/A2K0400003/A2K0400004/

A2K0500001/A2K0500002/A2K0500003/A2K0500004/A2K0500005/A2K0500006/A2K0500007/

A2K0600001/A2K0600002/A2K0600003/A2K0600004/A2K0600005/A2K0600006/A2K0600007/A2K0600008/A2K0600009/A2K0600010/A2K0600011/A2K0600012/A2K0600013/A2K0600014/

A2K0600015/A2K0600016/A2K0600017/A2K0600018/A2K0600019/A2K0600020/A2K0600021/

・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10.11.05)

※1 A2: 重大製品事故以外の製品事故

※2 B1: 「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2: 「B1」以外の事故